

第5回小平市水泳協会理事会

議 事 録

2022・6・23

出席者 会長 ○金子 副会長 ○河野 運営本部長 ○清水 理事長 ○堀尾
運営本部 ○瀬戸口 ×若林 広報 ○土方 普及 ○竹村 競技 ○堀尾
体育協会代表委員 ○若林 都下水連 ○堀尾

普及委員会/竹村副委員長も出席要請する。(運営規定第2条③適用)
若林理事は入院により欠席。

議 題

A: 報告事項

1. 小平市体育協会関係

1) 令和4年度ジュニア育成講習会について

Q→広報委員会/齋藤副委員長へ水協HPへの報告依頼は完了していますか？

A→清水運営本部長から再度、齋藤副委員長へ依頼を行った。

若林部門長より

講習会への参加者数は、1名とは限らず4名でも可との体協からの回答有。

2. 東京都水泳協会関係

1) 第1回基礎水泳指導員養成講習会 6/20 HP掲載しました。

Q→広報委員会へ温水プール入口横にチラシ掲示は依頼済ですか？

A→チラシ掲示が未実施。

※清水運営本部長がチラシをA4サイズにして作成し広報委員会へ掲示依頼を行う。

3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

1) 第2回メールアドレス勉強会日程調整

対象：三役・理事・メールアドレスアクセス権者（齋藤副委員長）各委員会希望者

7月10日（日）14時～福祉会館

内容：14時～16時 メールアドレスなどの勉強会

16時～17時 口座振替勉強会

※当日は選挙投票日ですが福祉会館は投票会場にはなっていません。

【各委員会等からの出席及び希望者】

三役→金子会長 河野副会長

運営本部・会議管理部門→瀬戸口理事 石塚委員（口座振替チーム）

広報委員会→土方委員長

競技委員会→堀尾委員長

都育成事業特別委員会→岡部委員

2) 5月20日（金）都育成事業特別委員会からの資料についての質問

Q1→講師用のフェイスシールドも個人が使用するので私的利用が考えられる。どちらも直接口を覆うマスクする目的で、理由が不明確である。

A1→体協から都体協へ再確認したところ、指導者が使用するプール用マスク(カワシマスク)は、消耗品で購入が可能との回答があったとのこと。今年度は予算がないので、支年度からの対応としたい。

Q1→回答が遅い。今年度予算計上時点で清水運営本部長から質問をしていた案件である。

来年度から体協主催の都育成事業関係の会議には清水運営本部長も同席としたい。

A1→清水運営本部長の出席は了解しました。

Q2→令和4年度からの都育成事業の報償費から源泉徴収が発生して当協会の事業についても対応している。
当協会の令和3年度の事業については年度途中であったので源泉しないとの体協指導であった。
令和4年度のジュニア育成推進事業は15事業・シニアスポーツ推進事業は12事業が開催される。
各加盟団体へ源泉徴収する場合の指導した資料の開示をお願いしたい。

※体協からの提出資料を回覧にて確認を行った。資料については清水運営本部長保管

A2→今年度事業開催に当たって、2月・3月・5月の3回にわたり、会議等で体協から資料の配布があった。
更に不明の事は、個別に質問し対応している。

Q3→体協からの提出資料を確認したが源泉徴収に関する資料が欠落している。

まずは令和4年度のジュニア育成推進事業は15事業・シニアスポーツ推進事業は12事業が開催される。
各加盟団体へ源泉徴収する場合の指導した資料の開示をして頂きたい。

資料提出出来ないのであれば清水運営本部長が体協へ直接確認をさせて頂きたい。

A3→了解するが会長へ確認内容を共有して頂きたい。

※以下の意見要望あり

体協として源泉徴収に対応している加盟団体からヒアリングを行い問題点や今後の課題など明確にして
横展開が必要である。

3) 小平市体育協会加盟団体支援金での以下購入品は入荷済

①水協固定電話 備品番号付与：A22176

→平成3年購入の代表電話（G91045）は減却。減却申請は普及委員会報告事項参照。

②指導員用ファイル(A4 バインダー)×11枚

→本日の理事会にてバインダー11枚とスイスイステッカー11枚を普及委員会に引き渡す。

4) 協会メールアドレスの利用基準

体協も含め個人メールアドレスから協会メールアドレスへ変更と前回理事会で決まった。

Q→体協への登録メールアドレス変更となっていますか？

A→体協からのメールは、水協アドレスにするよう依頼済み。

※清水運営本部長から体協へメールを差し上げ確認を行った。

5) ジュニア初心者月曜教室事務サポート

5月16日～6月20日までに教室終了したので担当指導員5名へ報償費振込及び振込カード作成。
報償金額等は以下の通り。

補償費：4000円×5日間＝20,000円

源泉金額：2042円

振込額：17,958円

振込手数料：380円

源泉金額は現金にて2042円×5人＝10210円は体協へお渡しする。

※会計報告及びエビデンス及びは協議事項へ

→振込明細書などを回覧にて確認を行った。

6) 教室会費等の7月27日振替予定の口座振替依頼書（口座内容不備） 8件送付済

送付した口座振替依頼書で6月27日振替済が2件あった。原因はアプラス振替を水協以外で実施していると口座
振替依頼書不備があっても振り返るとの事。但しその水協以外の振替を停止した場合は振替が出来なくなるので
再提出した。

市民まつり実行・会議管理部門

1) 8月10日（水）中央公民館学習室1を理事会で確保済。

9月8日（木）理事会会場は未定、確保しましたら報告致します。

5. 広報委員会

1) 水協クイズ

・応募中間報告 資料1→[Dropbox 本理事会資料フォルダー参照](#)

・HP 応募の不具合について 6/18 会長より教室会員より応募が出来ない。エラーになってしまう。

以上の報告を受けた。調べたらトピックスの水協クイズ No. 10 からの応募はリンク先が表示されていてクリックすると応募は出来ましたが、HP トップ画面の「水協クイズ」からの応募はリンク先が消えて違う表示になり応募が出来ないことが分かりました。(エラー表示になってしまう。)

このような状態でしたので運営本部長へラップ東京さんへの修正依頼を行いました。6/21 修正されました。HP にお詫びを掲載し更新しました。

2) 水協だより「スイスイ」No. 2

川柳応募状況 資料2→[Dropbox 本理事会資料フォルダー参照](#)

3) 世界水泳福岡大会公式 HP リンクバナーの掲出について

6/11(土)担当の福岡大会組織委員会事務局へ協会メールから連絡しました。

→水協 HP 掲載を進めます。

6. 普及委員会

1) 水協 HP の「よくある質問コーナー」へ教室会員へ手渡している「しおり」を参照に項目と内容を7月末までに普及委員会で作成して水協 HP で公開すると前回の理事会で決まった。

Q→進捗状況を教えてください。

A→着手していません。今後普及委員及び協力員の意見を聞きながら対応したい。

※清水運営本部長より本理事会前に「しおり」と作製中の「よくある質問」電子データを関係者へ送付済

2) 9.10. 11月3か月教室募集結果。

(空き情報: 6月24日現在)

【成人】 火曜教室 午後3名、夜間2名
水曜教室 午後2名、夜間2名
金曜教室 午前2名、夜間5名

【ジュニア】火曜教室 I 3名 II 2名
水曜教室 II 10名
木曜教室 I 2名
金曜教室 I 7名

7月20日市報再募集。

※ジュニアについては欠員募集など発生するので庶務サポートが必要と考えるが協議事項へ

7. 競技委員会

1) 6/13 (月) に 10/2 (日) 小平市水泳記録測定会の参加意向の案内を小平、小平西、小平南、創価各高校へ郵送。

締め切りは6/30 (木) で水協メールアドレスもしくは堀尾委員長の携帯に届く見込み。

・6/20 (月) 小平南高校 20名弱の参加の連絡が堀尾委員長に入った。

8. 都育成事業特別委員会

1) ジュニア初心者水泳教室月曜教室終了。参加した子供たちの感想は、楽しかった、泳げてよかった、学校プール授業が待ちどおしい等であった。

2) ジュニア初心者水泳教室A・B教室募集状況 A・30名 B・22名

21日火曜日 指導員会議開催。以下指導員と清水運営本部長が出席。

担当指導員 A教室 岡部、松尾、石塚、齋藤、水野、金子。

(敬称略) B教室 鈴木良(5日目 金子)、土方、石塚、齋藤、松尾、岡部

9. 市町村総体特別委員会

1) 市町村総体出場選手へ今年各各市で選手に傷害保険加入について

Q1→小平市で傷害保険加入するのか金子会長が確認すると前回理事会で決まった。報告を頂きたい。

A1→市町村大会に参加する各加盟団体に加入の事との回答あり。

Q2→加盟団体とは小平市の体協の事ですか？それとも水協ですか？

A2→加盟団体は水協の事であるが、市の代表選手として派遣であるので水協が負担する事は理解出来ない。
今年度は無保険になる事を避ける為にも水協で負担するが行政側へ要望書を提出とする。
保険加入は金子会長・振込は清水運営本部長が担当とする。

※行政側の要望書は文化スポーツ課と体協宛てに清水運営本部長が作成する。

10. マスターズ特別委員会

1) 都民生涯スポーツ大会水泳競技に10名エントリー。体協に申し込み済み。

Q→おやじの会所属の池田正会員、津山正会員、寺崎正会員は水協ポロシャツを所有されていますか？市町村大会の必要枚数を把握したいと思います。

清水運営本部長：上記3名お持ちならば、お手数ですがLサイズ6枚、Mサイズ1枚を6/27三役会議にお持ちいただくようお願いします。

A→上記おやじの会3名の他、下山さんを含むLサイズ4枚を預かっています。市町村大会が先になりますので、理事会時にお持ちします。(マスターズ特別委員会)

A→必要枚数が及びサイズが決まりましたら報告をお願い致します。準備致します。

※Lサイズ6枚、Mサイズ1枚の準備をお願いします。

2) 元マスターズ登録正会員宇留野様から、水協ポロシャツ及び黄色のTシャツの返還有、ともにMサイズ。

→水協ポロシャツは清水運営本部長保管・黄色のTシャツはマスターズ特別委員会/金子委員長保管。

11. その他報告事項

1) 小平市民憲章推進運動実践者表彰の基準

前回の理事会にて5月24日(火)令和4年度小平市民憲章推進協議会総会報告の残案件

→前回の理事会での確認案件は「小平市民憲章推進運動実践者表彰基準」の情報開示です。
引き続き確認を行う。なお来年度は当協会が推薦される予定。

B：協議事項

1. 小平市体育協会関係

1) 令和4年度ジュニア育成講習会への当協会からの派遣者について

既に広報委員会/齋藤副委員長は依頼済。清水運営本部長よりジュニア指導員へも依頼済
募集締切は6月25日(土)5時 体協提出はメールにて6月25日(土)6時
現時点での派遣者：齋藤副委員長 水野指導員

⇒本件は体協との窓口を清水運営本部長とし上記スケジュールで承認

2. 東京都水泳協会関係 なし

3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

1) 普及委員会・都育成事業特別委員会への事務サポートについて

事務サポートをするのであれば教室会員及び申込者の情報は全て共有として頂きたい。
具体的にはメール送信時には委員長以外に清水運営本部長も送信先に入れる。

⇒承認

Q→上記委員会以外の対応をどうしますか？

A→同様に清水運営本部長や三役を加えて下さい。

2) 1月2月3月教室事務サポートについて

【スケジュール】

10月5日(水):既存会員へメール及び教室にて募集開始 締切10月27日(木)
12月5日(月):市報掲載(市報原稿締切10月28日) 締切12月16日(金)
12月26日(月):指導員会議
2023年1月10日(火):教室開始

⇒ジュニア6年生の意向調査は2023年2月頃に1月2月3月教室参加者とメールアドレス登録者へ実施で、その他スケジュールは承認
⇒スケジュール以外の内容については普及委員会で検討し理事会へ提出とする。

3) 2023年度教室関係の事業展開について

三役・運営本部長出席で内容検討したい。まずは会議日程を決めて頂きたい。
市民水泳教室関係 ⇒8月23日(火)指導員会議
都育成事業 ⇒日程調整中

【本理事会にて以下の意見要望あり】

- ①コロナによる規制がどうなるか不明なので今年度同様の内容で2023年度体育施設利用申請提出と思う。
- ②レーン規制などが撤廃しても、現在の指導員体制では現状の短期教室規模の開催ではないか。
- ③短期で目的別の教室も良いのでは。
- ④定員以上の在籍数をかかえている教室会員をどのようにあつかうのか。
- ⑤従来の1年間教室では、在籍数確保が難しい。今までも在籍数に係数をかけて収入見込みとした。昨年度から実施している短期教室では係数をかけないで収入を見込んでいる

4) 教室会員が正会員になった場合の年会費徴収について

2022年度は9月教室会費振替時に合算しての振替となる。正会員の教室会員から今後も教室会費振替時に振替希望の声があった。

⇒2023年度から教室会員で正会員については年度当初の教室会費振込時に振替も可とする。

5) メールアドレス管理責任者の明確

協会メールアドレス:清水運営本部長
協会教室メールアドレス:清水運営本部長:
協会ジュニア教室メールアドレス:清水運営本部長
競技委員会メールアドレス:堀尾競技委員長

⇒上記管理責任者で承認。競技委員会メールアドレスのアカウント・パスワード管理は清水運営本部長管理とし一元管理とする。

6) 4月5月6月教室・第1回水中ウォーキング教室報償費について

管理台帳コピーの資料を参照。源泉徴収額は6月27日(月)納税予定

⇒提出資料で承認。提出資料は本理事会終了後に清水運営本部長回収にて裁断処理とする。

市民まつり実行・会議管理部門

1) 若林理事不在のサポートについて

①体協代表委員会(6月30日)

⇒若林理事が出席対象か清水運営本部長が体協へ確認し、対象であれば清水運営本部長が代理出席とする。

②ジュニア育成講習会(7月2日) 6月25日(土)までに参加者名簿提出

⇒体協協議事項参照

③7/14と7/28理事会代理出席

⇒会議管理部門の委員へ清水運営本部長から出席要請を行う。

④8月15日ブログの丹羽正会員への対応

⇒状況を確認して差替えなど清水運営本部長が対応とする。

5. 広報委員会 なし

6. 普及委員会

1) 9月10月11月同意書提出時の正会員入会案内で、教室会員と正会員の区別がわからず、正会員でない方からの

「正会員入会済み」の回答が多く散見された。対策が必要である。

⇒現在の正会員情報は運営本部で管理している。間違っている方へ再度ご連絡を差し上げる。
文面作成及びメール配信は清水運営本部長担当とする。

2) 9月10月11月ジュニア教室庶務サポートについて

応募状況

火曜ジュニアⅠ：13人 Ⅱ：14人

水曜ジュニアⅠ：16人 Ⅱ：6人

木曜ジュニアⅠ：14人 Ⅱ：16人

金曜ジュニアⅠ：9人 Ⅱ：16人

Q→今回は4月5月6月教室同様に口座振替の案内を欠員募集での入会者へ行うのか？

A→前回と同様に口座振替と纏めての振込の案内を行う。

⇒前回同様に庶務サポートを2日間で指導員へ依頼で承認。
依頼は金子普及委員長代理からとする。

- 3) プール用マスクを忘れた方への対応について、火曜ジュニアⅡで忘れた方へ、「参加せず帰る」との同意書記入者に、新しいプールマスクを渡してしまったことから、保護者にその旨伝えたと返却しますとのことでしたので、指導員は責任を感じ、自腹を切るとのことでした。
本件については、忘れたときの対応で同意書を十分確認しないでの対応が原因でした。今後はこのようなことがないように誓約していただき費用負担はないものとしたしたい。なお、今後は、この様なときは、複数の指導員で確認し、間違えのないよう対応することを指導員全員に伝え徹底を図ることとする。

本件は初めてではない、既に発生して理事会報告し本会計に550円を入金している。
状況が変わった理由を教えてください。
本件が承認されるのであれば既に頂いている550円は返金すべき。

⇒今回も現金徴収とし、指導員会議で注意喚起する。

7. 競技委員会

- 1) 競技委員会のメールアドレスの取得をお願いします。

アドレス案：kodairaswimkyougi@gmail.com

理由)・今後の競技会受付でMfaceを活用していく。

・高等学校水泳部などの対外窓口とする。

Q→管理責任者がパスワードを決めてアカウント作成をして頂きたい。

また共有者をどの範囲にするか決めて頂き、7月10日勉強会で共有作業をして頂きたい。

A→共有者は三役と運営本部長と競技委員会/安部副委員長としたい。

⇒パスワード・アカウント管理は清水運営本部長として承認

- 2) 10/2(日)小平市水泳記録測定会の正会員への競技役員依頼文案(往復ハガキ)

・7/7(木)榎本委員、権田委員、堀尾委員長が印刷、宛名シール貼り、郵送予定。

⇒以上提案で承認

【本理事会にて以下の意見要望あり】

①教室会員へはメールアドレス登録を推進している。

正会員に対してもメールアドレスとMfaceを兼用するなど推進して頂きたい。

8. 都育成事業特別委員会

- 1) 松尾指導員が怪我によりジュニア初心者A教室を竹村指導員へ交替したい。

⇒承認

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会 なし

11. その他協議事項 ※その他協議事項は6月27日（月）第2回三役・運営本部長会議で事前検討とする。

1) 河野副会長提案について

第11回理事会から「指導員の確保」をテーマとして継続審議している。正会員の年齢構成から短期・中期・長期で協会・教室運営のあるべき姿を明確にする必要がある。

【指導員確保について】

報償費の金額差を設けて外部指導員を導入していく。

今回の三役・運営本部長会議の検討状況を清水運営本部長から5月19日（木）指導員会議で報告を行う。

2) ジュニア初心者教室について

都育成事業の初心者教室応募の保護者から以下の意見要望があった。水協としても繰返し行政へ報告しているが今後の取組方の方向性を決めていきたい。

【保護者からの声】

なかなか、泳ぎを教えてあげる機会がなく、素敵なイベントをありがとうございます。5小の六年生は今年も天候に恵まれたとしてもプールに入れるのが3回予定とのことで困っていました。この歳で初めて、プールを習い事として始めるのは本人がどこか恥ずかしい思いがあるようで…このような機会を作っていただけただこと感謝しかありません。最近では昔に比べプールに入れる回数が減っている印象です。市の方にお声が届くのであれば、このような機会を増やして頂き、学校で受けられるはずだった水泳の最低限の経験を作って頂けると幸いです。

【水協としての現時点の取組】

このようなご意見は、参加する児童の保護者からうかがっていました。

特にここ2、3年は、コロナ関連で学校プールが中止や縮小などで泳げない児童が増えていることと思います。そのような中で、水協として今年はジュニア初心者教室を3教室に増やし開催していますが、申し込みが多く、3、4年生は受け入れられないほどです。

市及び教育委員会へは、後援名義の報告書の中で現状をお伝えします。

当協会としては、都育成事業にとどまらず、市民水泳教室のジュニアへの普及強化が急務と考える。

次回理事会 7月14日（木）19時30分～ 体育館第2会議室